

とうきょう すくわくプログラム⑥



(第11回目)

【活動内容】『卒園式』

『わくわくにじいろそつえんしき』をコンセプトに子ども達が、花紙で虹を作ったり、クラス名でもある〈かりん組〉の看板を作ったりしました。そして、卒園式が近づくにつれて「手紙を書きたいな」という声も聞こえてきたので、式次第の飾りの製作を行っていきました。

【活動の為に準備した素材や道具・環境設定】

- ・はさみ・のり・画用紙・折り紙・絵の具・花紙
- ・段ボール・和紙

【子ども達の姿と発見】

卒園式が近づくにつれて、卒園式を行うホールの飾りも鮮やかになってきました。「すてきになってきたね」「かりんぐみさんらしい、かざりだね」とわくわくしていた子ども達です。

当日は、子ども達らしい沢山の作品に囲まれとても心温まる式になりました。



「みエルモン」を購入し幼虫の色の観察をしました。



製作棚を用意し、子ども達と一緒に環境設定も行いました。



【振り返り】

今回、すくわくプログラムに参加して感じた事は、その都度、子どもに合わせた環境設定をする事や保育士等が子どもと同じ目線に立ち、『なぜ?』を共に考えていく事で、一人一人の関心が広がり、探究心へと繋がっていく姿を肌で実感する事が出来ました。

また、子ども達との活動後、毎回、みんなで活動の振り返りを行う事や、活動前に前回の取り組みの話をして同じ認識をする事で、子ども達自身がイメージを持ちやすくなったり、友達の考えを聞き新たな発見をしたりする姿も活動ごとに増えていったように思います。

今回は、《色》をテーマに探究活動を行っていましたが、大きな行事でもあるおたのしみ会に繋がったり、卒園式の装飾等にも繋がった経験は、子ども達だけではなく、私にとっても想像していなかった思い出になる活動内容でもありました。

今後も、子ども達の主体性や想像力を大切にしながら、子ども達の『なぜ?』を大切に探究活動に繋がる保育をしていきたいと思ひます。

(作成者：南 みのり)